

## 秋川橋河川公園の管理運営の状況について

### 1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	秋川橋河川公園
	所在地	あきる野市留原 8 1 4 番地
	所管課	環境経済部観光商工課観光まちづくり係（内線） 2 5 3 1
指定管理者	名 称	あきる野市観光協会
	所在地	あきる野市乙津 1 2 9 3 番地
	業務内容	①施設の利用等に関すること ・施設利用の受付業務 ・器具類の貸出し業務 ②環境衛生協力費等の徴収に関すること ・施設利用者が、施設内に自動車等を持ち入れる際の環境衛生協力費の徴収業務 ・器具類等の貸出し料徴収業務 ③施設の維持管理に関すること ・施設の清掃業務 ・施設の軽微な修繕に関する業務 ④施設の利用促進を図るための企画実施に関すること ・各種イベントの支援業務 ・施設の見学に関する業務 ・広告・宣伝業務 ・施設利用者に対する意識調査の実施業務
ホームページ URL	<a href="https://www.akirunokanko.com/?p=307">https://www.akirunokanko.com/?p=307</a>	
指 定 期 間	平成 2 3 年 4 月 1 日 ～ 平成 2 6 年 3 月 3 1 日	

### 2 施設の利用状況等について

項 目	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
利用者数（人）	約 65,000	約 70,000	約 70,000	約 75,000	約 70,000
前年度比（人）	5,000	5,000	0	5,000	△5,000
前年度比（%）	108.3	107.7	100	107.1	93.3
利用料金収入（円）	47,968,200	50,685,400	55,644,700	58,830,896	54,788,368
前年度比（円）	6,712,800	2,717,200	4,959,300	3,186,196	△4,042,528
前年度比（%）	116.3	105.7	109.8	105.7	93.1

3 施設の収支状況について

(単位：円)

項目		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
収入	指定管理料	0	0	0	0	0
	利用料金	35,890,200	38,734,000	42,294,000	44,471,100	42,513,900
	その他の収入	12,078,000	11,951,400	13,350,700	14,359,796	12,274,648
	計	47,968,200	50,685,400	55,644,700	58,830,896	54,788,368
支出	維持管理経費	4,340,857	873,753	2,317,850	5,097,911	5,535,855
	人件費	11,150,481	13,879,541	13,707,497	16,148,508	16,467,807
	その他	7,107,588	9,391,302	8,615,901	11,845,642	12,759,565
	計	22,598,926	24,144,596	24,641,248	33,092,061	34,763,227
収支合計		25,369,274	26,540,804	31,003,452	25,738,835	20,025,141

4 利用者からの苦情・意見等とその対応状況について

意見等の概要	対応状況
道具類の持込禁止について苦情が多い。	河川環境保全ということで説明をし、大半の利用者には理解していただいているが、どうしても私物の道具類を使用したいお客様に対しては、他の施設を紹介している。

5 利用者満足度の把握について

把握方法	来場されたお客様に直接感想等を聞いている。
調査結果	気楽にバーベキューができて料金も安いので、満足しているとの意見が多かった。また、道具類を使用したまま返却できるので、便利であるとの意見もいただいている。

6 利用者サービスの向上又は経費の削減等に向けた取組について（実績・予定、効果等）

取組の内容	効果等
AEDを設置し、取扱いに関する講習会を実施した。	利用者の安全対策への取組を強化し、水難事故等に対応できる環境が整備された。
案内等の看板の見直しを行った。	来場の際に戸惑うお客様が減少し、地域住民への支障も軽減された。また、PR効果も図られた。
未使用時の電源を切るなど、節電を実施している。	電気料の削減につながった。

## 7 総合評価

### 指定管理者の評価

(次年度以降における業務改善につなげていくための総括又は自己評価)

例年以上に夏場の台風及び大雨による河川の氾濫が発生し、河川整備のため休園を余儀なくされる日数が増加した。そのため、利用者数及び利用料金収入が減少し、施設維持管理費が増加したことから昨年と比較し収支合計も減少した。今後は、洪水等発生後の施設整備の迅速化を図るとともに引き続き利用者の満足度向上を図るため、より良いサービスの提供とより収益性の高い経営に努めていく。

### 設置者（所管課）の評価

(次年度以降における業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価)

利用者数や収支状況を見てみると、利用者数については前年度比約 5,000 人の減少、収入についても約 4,043 千円減少している。収支は約 20,025 千円の利益があったが、前年度対比では約 5,714 千円減少している。利益の減少は、夏場の洪水による利用料金の減少及び施設維持管理費の増加が原因であり、特に施設維持管理費は昨年度比約 438 千円増加している。また、あきる野市観光協会（秋川橋河川公園、第 1 水辺公園、第 4 水辺公園）から市へ寄附金として合計 1,300 千円が納められている。

この河川公園は、武蔵五日市駅から徒歩 5 分という立地条件や施設の規模や内容も充実していることから、特に夏休み期間中はバーベキューをしながら川遊びをする家族連れも多く盛況である。今後も引き続き積極的なサービスを展開し、従業員へのホスピタリティ教育や A E D 講習等の安全管理教育を継続的に行うことで、更なる利用者の増加を図り、あきる野市内により多くの観光客を呼び込む取組を推進する必要がある。